【ポスターセッション発表団体一覧】

（団 体 名） あいな里山ビオパーク

（活動紹介）あいな里山ビオパークは、日本環境教育学会関西支部の有志メンバーが中心となって国営明石海峡公園神戸地区の里山をフィールドにして活動する市民グループです。私たちのグループは、この都市近郊にあって押し寄せる開発の波の中で息づいている貴重な自然を再生し、都市に住む人たちが身近なところで自然体験のできる環境教育のフィールドづくりを目差し、あいな里山ビオパークづくりを提案しています。（http://www.kankyo.atnifty.com/~biopark/）

（団 体 名）アマフォレストの会

（活動紹介）兵庫県の尼崎21世紀の森構想に基づいて尼崎の森中央緑地の森づくりを進める市民団体です。地域の森で採取した種子から苗木を育て生物多様性豊かな森づくりに取り組んでいます。①毎月2回の定例活動日に種子の箱まき、実生苗のポット植え替え（鉢上げ）、ポット苗の植樹、除草などの森づくり活動を行っています。②小学生の環境体験学習を受け入れ実施しています。③苗木里親募集活動を行っています。④森づくり講座を開催しています。

（団 体 名）ESD推進ネットひょうご神戸
（RCE兵庫-神戸）

（活動紹介）RCE（Regional Centres of Expertise）は、ESD(持続可能な開発のための教育）の推進拠点として国連大学が認証しています。環境・社会・経済など幅広い課題を視野におさめ、「持続可能な社会」を実現するための教育を地域社会から推進することを目的としています。地域のさまざまなレベルの学校、博物館等の社会教育機関、市民組織、自治体、企業、メディアなど幅広い組織や人々が参画して、情報や知識の共有、対話の場の創成、新しい連携の促進などを進めます。

（団 体 名）大阪湾広域臨海環境整備センター
（大阪湾フェニックスセンター）

（活動紹介）当センターは、近畿2府4県168市町村の圏域から発生する廃棄物を適正に海面埋立処分して、港湾地域の土地造成を行っている団体です。

処分場建設は大阪湾の貴重な水面に建設されることから、緩傾斜護岸を採用して、海生生物の生育環境の創出に努めています。この処分場護岸での藻場の分布や生物の生育状況について毎年調査を行っており、多様な生物の生息環境が生まれていることが確認されています。

（団 体 名）お米の勉強会

（活動紹介）1986年設立、目的は「自分たちの力で農林業・食べ物・環境をよくしましょう」。以来、毎月、講演会、研修会、蘇軾料理教室、各種イベントへの参加、会報発行等を続けている。数年前より温暖化対策を取り上げ、種の重要性にたどり着き、生物多様性条約にもっと積極的に各地に残る種と暮らしを文化として協力に入れてもらうよう、CBD市民ネットの「人々とたねの未来部会」の一員として努めてきた。

（団 体 名）神戸カワバタモロコ保全推進協議会

（活動紹介）神戸カワバタモロコ保全推進協議会は、神戸の生物多様性のシンボルとして、絶滅危惧種の淡水魚「カワバタモロコ」を守り、貴重なため池の環境を保全するため、市民団体、地元水利組合、教育機

関、行政の協働で発足しました。ため池の生物調査、かいぼり（池干し）によるため池の底質改善・外来魚駆除などの活動を行っています。また、カワバタモロコを学校やこうべ環境未来館のビオトープで保護するとともに、観察会などを実施しています。

（団 体 名）神戸市

（活動紹介）神戸市では、2008年5月に神戸で開催されたG8環境大臣会合を一つの契機とし、市民の公募による「守りたい神戸の生きもの百選」の選定（2009年）や、「神戸版レッドデータ2010」の作成（2010年）など、新たな生物多様性保全のための施策を進めてきました。また、2011年3月には、生物多様性基本法に基づく地域戦略である「（仮称）生物多様性神戸戦略」の策定を予定しています。

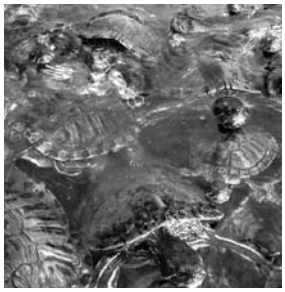
（団 体 名）神戸市シルバーカレッジ
（生活環境コース）

（活動紹介）シルバーカレッジは、しあわせの村の中にある高齢者の生涯学習の場です。生活環境コースは、自然、都市、食などさまざまな環境問題を学び、環境にやさしいライフスタイルの確立と地域の環境活動への参加と実践をめざしています。

10月29日(金)に、3学年合同授業・公開講座として「生物多様性交流フェア in KSC」を開催しました。フェアに参加の在校生、卒業生及び一般の参加者の生物多様性に向けてのメッセージをご覧ください。

（団 体 名）神戸市立須磨海浜水族園

（活動紹介）当園は7月にエコ水族園宣言を行い、生物多様性の保護に取り組むことを市民に発表しました。実現には産官学そして地域との連携を重視し、具体的には、展示生物の飼育員による自然に配慮した採集、園内での繁殖研究、外来種には「亀楽園」を開設し市民参加型の啓発活動を展開、川や海の特別展と環境学習、ウミガメ混獲防止の国際シンポジウム、希少なスナメリや海岸生物の実態調査など多面的に取り組んでいます。



（団 体 名）株式会社神戸製鋼所

（活動紹介）神戸製鋼所の灘浜サイエンススクエアは、「製鉄」「発電」「エネルギー」「環境」をテーマとし、科学・技術の面白さや不思議さを遊びながら学ぶ体験型学習施設です。また、緑地内には、六甲山系から大阪湾に流れ込む河川下流域の環境再生を目指したビオトープを設置し、様々な水辺の生き物に加え、カワバタモロコ、イヌタヌキモ等の希少種の保全に努めています。またNPOと協力し、地域の自然環境教育のフィールドとしての役割を担っています。

（団 体 名）須磨FRSネット

（活動紹介）須磨は、森（Forest）・川（River）・海（Sea）がコンパクトなエリアに集積されており、それぞれのフィールドで自然を守り育てる活動を続ける地域団体のネットワーク「須磨FRSネット」を結成し、さらなる活動の充実を進めています。

須磨の自然環境や自然のつながりを体感していただくため、須磨の自然環境を舞台に、須磨環境塾や須磨

エコアスロンなど、特色のある取り組みを進めています。

（団 体 名）住友ゴム工業株式会社

（活動紹介）創業100周年を機に、2009年度から「100万本の郷土の森づくり」を実施しています。私たちはこれまでも積極的な植樹活動を行ってきましたが、新たな目標として「今後20年間で100万本を植樹」します(計画を上回るペースで進行中)。また、本年から緑化活動がその地域の生物多様性に与える影響の調査を開始しました。住友ゴムグループは、これからも地球環境や社会を「G･E･N･K･I」にする活動を推進します。

（団 体 名）住吉川流域連絡協議会
（ブナを植える会･住吉川清流の会・神戸川と海を考える会･NPO法人アマモ種子バンク）

（活動紹介）神戸市東灘区を流れる住吉川流域において「森～川～海を一体とした自然再生」と「都会に本来の豊かな自然環境を取り戻す」ことをコンセプトに、上流の森では落葉広葉樹の植樹活動による五助の森づくりを、川ではアユを指標種としアユの棲みやすい川づくりを通じて生物多様性に富んだ川づくりを、海では神戸港に残された貴重な干潟で潮干狩りや磯遊びが楽しめるような里海づくりを行っています。

（団 体 名）生活協同組合コープこうべ

（活動紹介）兵庫県の「企業の森づくり」第1号として平成20年にスタート。マイバッグ運動でいただいたレジ袋の代金を活用して、10年かけて西宮市にあるコープの森・社家郷山（しゃけごうやま）の整備と生き物の学習をとおした森づくりを行っています。NPO法人こども環境活動支援協会と一緒に生協の組合員と職員がボランティアで活動しています。

（団 体 名） たんぽぽ親子クラブ

（活動紹介）「たんぽぽ親子クラブ」は須磨区内で自然環境守り親しむ活動をしている「須磨FRS」ネットに参加して活動している団体です。毎月、子どもたちや公園に関心を持っておられる方々を対象に「天井川公園の植物と生きもの」という観察の手引を発行し、あわせて親子で自然に楽しもうと「自然観察会」を行ったり、手づくりの楽しみを味わおうと「手づくりおもちゃを作る会」をボランティアの方々の力を借りて行っています。

（団 体 名）都賀川こどもフォーラム実行委員会

（活動紹介）魚がすめない悪臭漂う危険な川だった「都賀川」は、地域の人たちの努力と、生態系に配慮した河川改修の成果により、アユが遡上、産卵する自然豊かな川を取り戻すことができました。本活動は、都賀川を題材に総合的な学習を進めてきた小学校を中心として、都賀川の美化活動などを行ってきた「都賀川を守ろう会」や県、市が合同で、都賀川での活動や学習の成果を発表しています。

（団 体 名）都賀川を守ろう会

（活動紹介）昭和51年9月発足以来、清流を取り戻し、潤いのある水辺環境をつくろうと、皆様のご協力のもと、河川美化運動を推進。その結果、全域が

整備された都賀川は、かつての美しい川が甦ってきております。当会は引き続き清流を守り、次代に引き継ぎたいと思います。また、平成20年7月28日5名の命が失われた増水事故を受け、この様な事故を二度と起こしてはならないとの思いのもと、見守り活動や啓発活動等に取り組んでいます。

（団 体 名）農・都共生ネットこうべ

（活動紹介）農・都共生ネットこうべは、市民にの素晴らしさを伝え、生きものの源である農の場を保全しながら、都市部のエコアップ（生態学的な改善）を図っていきたいと考えています。

おもな活動：田んぼの楽校（人と自然が共生する農環境の構築模索・環境教育実践）、エコツアー、学校ビオトープ池かんさつ会（身近な環境の生態学的な改善と環境教育の充実・指導者の育成）など。

（団 体 名） 阪神・都市ビオトープフォーラム

（活動紹介）阪神都市圏でのビオトープの保全・復元・創出をはかるため、その理念および手法に関する調査研究、普及活動を行うとともに、その実現に関心を持つ市民団体、学校、行政、企業などのパートナーシップの構築を促進します。主な活動地域は、大阪府、兵庫県にまたがる阪神間。

活動内容：「学校ビオトープ事例集」「検証・学校ビオトープ」の出版・編集、学校ビオトープの活用実態に関する調査等。

（団 体 名）財団法人 ひょうご環境創造協会

（活動紹介）10月に開催された名古屋でのCOP10に向け、環境NGO・NPO・市民等を対象に、生物多様性保全に向けた課題や今後の活動の取り組みの強化、団体間の連携、ネットワークづくり、継続的取り組みを目的としたシンポジウムや連携講座を開催しました。その一環である「COP10準備ワーク」においては、参加者全員で、市民の立場からの生物多様性保全への行動指針である「生物多様性Hyogo市民宣言」をまとめ、COP10会場の関連イベント等においてPRを行いました。

（団 体 名）兵庫県

（活動紹介）2009年3月に策定した「生物多様性ひょうご戦略」では、生物多様性の視点をもつ仕組みの確立、自然環境保全活動の推進、人の営みとの調和の推進、基盤整備の4つの行動計画を示しています。推進には、行政はもとより県民、団体・NPO、事業者などの主体が、互いに連携し、それぞれの役割を担っていくことが不可欠です。ともに力を合わせ、すべてのいのちが共生する兵庫を守り、育んでいきたいと考えています。

（団 体 名）社団法人 兵庫県自然保護協会

（活動紹介）「かけがえのない地球・かけがいのない郷土」を守るために本部、姫路支部、明石海峡支部、神戸支部の会員がそれぞれ独自の自然保護活動をしている。また本部は月報「あしおと」を発行している。四季折々に武庫川流域自然観察ウオーキングを開催している（写真）。自然観察指導者研修会を兵庫県担当課と共催して地域の活動者に参加していただいている。神戸支部と本部は特別天然記念物「オオサンショウウオ」の生態行動研究を羽束川で実施。

（団 体 名）兵庫県立 人と自然の博物館
（ひとはく）

（活動紹介）兵庫県立人と自然の博物館（ひとはく）は「地域を愛する心を育み、地域の自然・環境・文化を未来に継承する」を合い言葉に、生物多様性に関する調査、研究、普及、啓発、市民・企業CSR活動の支援を行っています。ただいま、「ひとはく生物多様性大作戦」を展開中！展示特別企画『ひょうごの生物多様性　瀬戸内海VS日本海』や楽しいイベント盛りだくさんですので是非お越しください！

（団 体 名）兵庫・水辺ネットワーク

（活動紹介）兵庫県下には、4万箇所を越えるため池が立地しています。ため池は人間が灌漑用に築いた貯水施設ですが、全国的に水辺環境の破壊が進む中で、貴重な水辺空間を提供してくれています。そこは水生生物の重要な生息・生育場所となっているほか、手入れされた堤体は草地植物の大切な生活場所ともなっています。多くの絶滅危惧種がため池を最後の砦として暮らしており、私たちは、自然環境から見たため池保全の大切さを機会があるごとにアピールしています。

（団 体 名）NPO法人　ひょうご森の倶楽部

（活動紹介）荒廃した森林を市民の手で保全する「森林ボランティア活動」を主な活動としています。淡路島を除く兵庫県の全域に活動地があります。

森林ボランティア団体としては県内では歴史が長く、会員数を多いことから、兵庫県の「森林ボランティア講座」の企画・運営・現地指導を毎年引き受けているほか、新しく活動を始める団体や「企業の森づくり」等の指導要請にも応え、森の仲間づくりを積極的に行っています。

（団 体 名）福田川クリーンクラブ

（活動紹介）当クラブは清掃活動を主に活動をしています。出来るだけ自然を残したいとの思いから原則として人間が川へ投げ入れた物（ごみ）を取り除く事を会則にもりこんでいます。当初きれいな川を目指していましたが今は、魚や虫、鳥、植物を通し「いい川作り」のお手伝いが出来ればとのおもいで活動を展開しています。県の出前トークの先生に指導を受け、ほたるの幼虫の放流の活動もその一つです。

（団 体 名）ブナを植える会

（活動紹介）ブナを植える会は、ブナの植樹・育樹から発展して、豊かな森づくり、希少植生の再生などに取り組み、全てのフィールドを環境体験学習の場とし、次のステップとして、市民の憩いの森になることを目指して活動しています。これまで、氷ノ山、鉢伏山、六甲山でブナを植樹・育樹してきました。平成19年からは、東お多福山のススキ草原の再生・保全にも取り組んでいます。平成20年4月には、森林ボランティア団体としては全国で初めてとなる緑綬褒章を受章しています。

（団 体 名）やしろの森公園協会

（活動紹介）兵庫県立やしろの森公園では豊かな里山の環境を県民の協働と参画により保全するとともに環境学習の場としての取り組みを推進しています。ボランティアスタッフ

の活動とパナソニック株式会社と協働で実施する環境教育プログラム「地球の未来を担う子どもたちを育むプロジェクト～みんなで育てる！いきものあふれるゆめのもり～里山の水辺編」の概要をご紹介させていただきます。

（団 体 名）六甲山自然案内人の会

（活動紹介）六甲山とその自然の素晴らしさを広く一般の人々に伝えることを目的に設立した。そのために月一回、一般を対象に自然観察会を開催したり、案内人の養成のために1年間の講座を設けたり、小学生を対象に環境体験学習のお手伝いを行っている。

【ポスターセッションの様子】